

## カルチュラル・オリンピアド

### 1.カルチュラル・オリンピアドについて

カルチュラル・オリンピアドとは、オリンピック・パラリンピックの開催国において文化プログラムの一環として行われているプログラムである。期間は前大会終了後から次の大会開催までの4年間で、文化・芸術に関わるパフォーマンスや展示、舞台公演、伝統的スポーツなどが行われる。

文化プログラムは、オリンピック憲章にて次のように規定されており、大会の組織委員会(OCOG)は必ず実施しなければならないプログラムとなっている。「OCOG は、短くともオリンピック村の開村期間、複数の文化イベントのプログラムを計画しなければならない。このプログラムは、IOC 理事会に提出して事前の承認を得るものとする。」(オリンピック憲章 2011 年版)

文化プログラムは 1912 年のストックホルム大会から 1948 年のロンドン大会まで続けられた「芸術競技」を前身とする。芸術競技は、心身の調和的発達の重要性を示すためにクーベルタンにより近代オリンピックに導入されたものである。

1912年ストックホルム大会から実施された芸術競技は、ミューズの五種競技と呼ばれ、建築、彫刻、絵画、文学、音楽の 5 部門で、題材が直接スポーツに関係したものであった。1936 年ベルリン大会の芸術競技の絵画部門で、日本人画家の藤田隆治が『アイス・ホッケー』、水彩画部門で鈴木朱雀が『日本古典競馬』という作品で、それぞれ銅メダルを獲得している。第二次大戦以後は、芸術作品の輸送の問題、評価の難しさなどについて問題視されるようになり、1956 年のメルボルン大会より、開催国の文化についての「芸術展示」が行われることになった。そして 1992 年バルセロナ大会より、芸術に限らず、さまざまな文化の紹介や交流を行うという意味で「文化プログラム」となった。バルセロナ大会の組織委員会は、1988 年のソウル大会終了後から文化プログラムを始める際、4年間続けたことから、カルチュラル・オリンピアドと名付けたのであった。それぞれの年を次のように特徴づけた。すなわち、1988 年:文化への入り口、1989 年:文化とスポーツの年、1990 年:芸術の年、1991 年:未来の年、1992 年:オリンピック芸術祭。

こうして、文化・芸術に関わる様々なイベントが、バルセロナ地域の文化・芸術の紹介のみならず、国際的なレベルでの文化・芸術関連のイベントが多様に行われたのであった。(Beatriz García García, The concept of Olympic cultural programmes: origins, evolution and projection. University lecture on the Olympics.2002)

バルセロナ大会以降のオリンピック・パラリンピック競技大会でもこの流れは受け継がれ、今日に至っている。2004年のアテネ大会のカルチュラル・オリンピアドでは、蜷川幸雄が招待され、日本人の舞台監

督と役者による古代劇『オイディプス王』が日本語で日本的に演じられ、ギリシャの人々から喝采を受けたのであった。

2012 年のロンドン大会でもカルチュラル・オリンピアドが文化プログラムとして4年間実施され、音楽、演劇、ダンス、映画、展示などの文化事業が 18000 件行われ 1800 万人が鑑賞したと報告されている。2012 年は「ロンドン 2012 フェスティバル」と銘打って、204 カ国 25000 人以上のアーティストが参加して 12000 件の文化事業が行われた。文字通り、史上最大の文化プログラムとなったのであった。筆者もロンドン大会の折に市内を散策した際、ハイドパークにはヨーコ・オノによる「平和メッセージ展」が行われていたし、高等裁判所では「スポーツと法」に関する展示が行われていて、町の中をきながら、カルチュラル・オリンピアドを見て回ることは実に楽しかった。

ただし、カルチュラル・オリンピアドと通常のオリンピアドの4年間の数え方にはズレがあることに留意しておく必要がある。通常のオリンピアドは、夏季オリンピック競技大会が行われる年の1月1日が始まりで、ほぼ4年後の12月31日までを1オリンピアドとする。例えば、2020年の東京オリンピック・パラリンピックは第32オリンピアドに行われるが、これは2020年1月1日から2023年12月31日までの4年間で第32オリンピアドの期間である。それに対してカルチュラル・オリンピアドは、リオ・デ・ジャネイロでのオリンピックが終わった時から4年後の東京オリンピック・パラリンピックが終了するときまでの4年間になる。

## 2. 2014 ソチ冬季大会のカルチュラル・オリンピアド

2010年からソチ 2014 組織委員会により、ロシア国内のあらゆる地域で、カルチュラル・オリンピアドが展開された。2010年から2014年まで、10万人を超えるアーティストにより、3000以上の多様な文化イベントがロシア連邦文化省の後援のもと提供され、300万人以上の人々が鑑賞した。4年間それぞれの年を次のように特徴づけた。

2010年:映画の年、2011年:劇場の年、2012年:音楽の年、2013年:ミュージアムの年。それぞれの年のイベントをいくつか下記のサイトから紹介する。 (<http://culture.sochi2014.com/en/>)

### 2010年:映画の年

- 14カ国 80本からなる「スポーツ・フィルム祭」
- 障がいのある人々の生き方を描いた「バリアのない映画祭」
- ロシアの映画を中心にした「映画音楽祭」

### 2011 年:劇場の年

- 国境や周辺地域に住む民族の文化を歌と劇で紹介する「ヨーロッパの春」
- ソビエト時代のスポーツマスターの称号をもつ著名なスケート指導者 Igor Bobrin に因んだショー
- 若者のグループによるバレエのコンテスト

### 2012 年:音楽の年

- ロシアの若者によるオーケストラのコンテスト
- 音楽やパフォーマンスなどのコンテスト(入賞者は大会期間中に披露できる権利を得る)
- ロシア 40 地域から 1200 人以上の芸術家によるソチとロンドンで行われた「ロシア文化のマラソン」

### 2013 年:ミュージアムの年

- 「オリンピック競技会のマスコット」展:ダーウイン博物館と身体文化・スポーツ中央博物館において、オリンピックのマスコットになった動物について、動物たちがどのようなシンボルになったかを示す展示。最初のマスコットは1972年の第20回ミュンヘン大会で、ワルディというダックスフント。
- 「魅惑的な世界、エスニックロシア」展:ロシアのユニークな文化的多様性を示し、ロシア北部の少数民族の文化と遺産を紹介。コンサートに加えて、北部に見られる伝統的な家屋や伝統工芸品、ワークショップと民族ゲーム、さらには彼らのホスピタリティ、儀礼なども紹介。
- 「身体の強さのトレーニング、スポーツとロマノフ王室」展:ロマノフ王朝 400 周年を記念してソチ芸術博物館で 12 月から 2014 年 3 月 23 日まで開催された。ソチ 2014 カルチュラル・オリンピアードの掉尾を飾るもので、18 世紀から 20 世紀までのロシアのスポーツの歴史が語られた。ロマノフ王朝は、レスリング、ランニング、ボートなどの民族的スポーツや、ヨーロッパから移入されたフェンシング、チェス、テニス、自転車など、多種のスポーツを奨励していたことを示した。ピョートル大帝はチェスとビリヤード、キャサリン2世はサイクリング、ニコライ2世はテニスやカヤックなどの愛好者であったことなども紹介された。

ソチのカルチュラル・オリンピアードを分析すると、愛国的な内容のイベントも多く含まれていたことも指摘できる。例えば「軍歌の祭典」が第二次大戦の戦勝記念として毎年各地で行われたり、「愛国心の歌のフェスティバル」が行われ、軍による伝統的な軍歌やコサックの歌が披露された。この祭典はソチ中心部のアート広場でのコンサートで締めくくられた。このイベントのアーティストや音楽団には、ロシア、ウクライナ、キルギス、ウズベキスタン、ベラルーシ、アルメニアからも参加し、役人、軍人、中堅およびシニア軍人やコサックなどトータルで 620ものアーティストが演技を披露した。ソチでは、この歌と踊りのコンテストも行われてプロの審査団により審査された。参加者はディプロマが与えられ、コンテストの優勝者には記念の賞と価値あ

る賞品が授与されたのであった。力の入れようがうかがえる。この祭典の芸術ディレクターは、愛国歌の祭典はソチ 2014 カルチュラル・オリンピアドの重要な部門でロシア中の愛国心を喚起する、と述べている。さらにソチではこの祭典を 16 年間実施しているとのことであった。

オリンピックは平和を希求するものなので、このように愛国的な色彩の強いものをカルチュラル・オリンピアドとして行うのはいかげなものであろうか。

これらの過去の例から2020年の東京大会ではどのようなカルチュラル・オリンピアドが展開されるべきなのか、考えていくことが重要であろう。ソチを回って個人的に感じたのは、和の文化の発信である。平和、協調、融和、なごみ、おもてなしなど、日本文化や精神性を示す文キーワードとして、重要ではないだろうか。和の文化を貴重として、海外の様々な文化と融和し、平和な社会を築いていこうとするメッセージ性をもったカルチュラル・オリンピアドを創造していきたいと思う。



“平和のベンチ”アートプロジェクト

文責・撮影:真田久(筑波大学)